

あつま 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①軽舞事務所「特別開放事業」
- ②「あつまるねっと」募集について
- ③土器づくりのお知らせ／ディスカバー・カルチャー／いけばな親子教室／4月定例教育委員会
- ④第35回さわやか町民登山会／町内小中学校教科書及び昔の教科書展示会
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動紹介

軽舞遺跡調査 整理事務所 大好評だった特別開放事業

軽舞事務所は通常平日のみの一般公開を行っていますが、5月7日（日）には特別開放と懐かしの8ミリ上映会を行い、45人（町民29人、道内14人、道外2人）が来館しました。

旧軽舞小学校の体育館などに保管している町民の皆様から寄贈いただいた郷土資料に見て触れることで、子どもたちは新たな発見を楽しみ、大人たちは当時の記憶がよみがえり思い出話に花が咲いていました。

縄文世界遺産を巡るため東京から来道した30代のご夫婦は、学芸員の説明に耳を傾けながら、2時間かけてじっくりと見学し、「北海道の旅の最後に素晴らしい展示を見ることができました」と喜んでいました。

また約50年前の8ミリ映像「なつかしい幌里の昔」の上映会では、幌里地区の方々が多く来館し、当時の映像に目を細めながら「昔は、今よりも子どもがたくさんいて、にぎやかだったね」と自然に会話がはずんでいました。



体育館の郷土資料の見学

見て、触れての見学は子どもも大人も楽しく厚真の歴史を感じることができました。



特別収蔵庫の町指定文化財の見学

厚真町にしかないアイヌ民族の歴史を伝える約800年前の出土文化財に興味津々でした。



8ミリ上映会の様子

運動会や秋祭りなどのたくさんの子どもの思い出話と厚真町の未来を考える機会にもなり、町民から大好評の企画でした。

「あつまるねっと」募集中です！

地域の先生になってみませんか？

「あつまるねっと」とは？

「あつまるねっと」とは、地域と学校がパートナーとなって厚真町の子どもたちの学びと育ちを応援する仕組みです。子どもたちと一緒に活動したり、学びの環境をつくったりするための“地域ボランティア活動”の一つであり、老若男女、多世代にわたって活動するネットワークです。地域の方々が持っている知識や知恵、技能、技術（下記参照）など、学校等での教育活動や子どもたちの成長を見守る活動を支援するための人材バンクでもあります。

子どもを育てる環境づくりを進めるためには、様々な場面で活躍いただける方々が必要です。特別な資格などは必要ありません。「できるときに」「できることから」「できる範囲で」、「子どもたちのために何かしたい！」という気持ちがあればどなたでも参加できます。

具体的な活動例の紹介

- * 学習支援活動：読み聞かせ、教科学習の補助、クラブ活動の指導、伝統芸能・文化活動、地域の歴史や文化に関するお話、サーフィン・水泳・スケートなどの体育指導補助、陶芸指導、農業・林業などの体験的な活動の指導、ミシン・裁縫の指導、パソコンに関する指導など
- * 学校環境整備：花壇のお手入れ、樹木の剪定、草刈り、校舎内外の施設整備、雪かき、図書ボランティアなど
- * 学 校 安 全：通学路の安全指導、登下校の声かけ、防犯巡回、校門でのあいさつ運動など
- * その他の活動：部活動の指導・指導補助など



漁業体験



着付け指導



調理実習の指導

登録方法・問合せ

登録については、申請書への記入が必要となりますので、まずは教育委員会までお問い合わせください。その他、ご不明な点等についてもお問い合わせをお願いいたします。

教育委員会社会教育グループ（事務局） ☎ 27-2495

「土器づくり」のお知らせ

軽舞事務所も見学できます！

世界遺産として注目されている「縄文」の器、土器づくりを開催いたします。縄目文様をつけた自分だけの土の器をつくってみませんか？

- ◆日時 令和5年6月18日（日）10時～12時
- ◆場所 軽舞遺跡調査整理事務所
- ◆定員 先着20人程度（年齢制限なし）
※ 小学3年生以下は保護者同伴
- ◆参加費 無料
- ◆申込・問合せ 軽舞事務所 28-2733
メール shakai@town.atsuma.lg.jp
- ◆その他 9月実施の野焼きで野性味ある色合となった土器を、参加者にお渡しする予定です。



昨年度開催した「土器づくり」

「ディスカバリーカルチャー」で日本文化に触れる

教育委員会では、子どもから大人まで多世代にわたって参加できる新たな生涯学習の場として「ディスカバリーカルチャー」を開催しています。令和5年度第1回目として5月14日（日）に開催した「プラネタリウム×お茶」には、幼児から大人まで幅広い世代の22人の参加がありました。

今回は、町内在住の丹羽めぐみさんを講師として招きました。作法について教えてもらった後、2種類のお茶を自分でたてて、飲み比べ、最後には茶碗を洗うという、一連の体験を行いました。お茶をたてる際に手本として見せてもらった丹羽さんの手際の良さに参加者一同おどろきを隠せませんでした。

第2回の開催については、7月を予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。



お茶のたて方について教わる参加者

伝統文化 いけばな親子教室

- ◆主管 厚真地区伝統文化いけばな親子教室
- ◆後援 厚真町教育委員会
- ◆初回開催：6月17日（土）
※日程の詳細については、青少年センター内の案内チラシをご覧ください。（全7回を予定）
- ◆場所 青少年センター2階ロビー
- ◆時間 10時00分～11時00分
- ◆材料費 880円（開催毎に必要）
- ◆対象者 未就学児～中学生及び保護者
- ◆申込・問合せ
電話もしくは、下記QRコードから申込み、問い合わせが可能です。また、青少年センター内にある申込用紙からも申込み可能です。

厚真地区伝統文化いけばな親子教室
指導者：上田
☎090-5077-8279



LINE アカウント↑
「いけばな教室 厚真エリア」

4月定例教育委員会

- ◆報告事項
各学校の教職員・児童生徒数について／4月校長会議・教頭会議について／厚真町教育研究所第1回運営委員会（4月21日開催）について／浜厚真野原公園サッカー場、上厚真・新町・本郷いこいの森パークゴルフ場オープンについて／放課後児童クラブ及び放課後子ども教室での飲食を伴う活動の再開について／他1件
- ◆議案
厚真町教育委員会事務局組織規則の一部改正について／外国青年英語指導助手任用規則の一部改正について／厚真町立学校管理規則の一部改正について／厚真町立中学校に係る部活動の方針の改定について／他1件
- ★問合せ
学校教育グループ ☎27-2494

第35回

さわやか町民登山会

自然に親しみながら体力づくりのできる
登山にチャレンジしてみませんか？

- ◆主 管 あつま山の会
- ◆共 催 厚真町教育委員会、厚真町体育協会
- ◆と き 7月2日【日】 7時00分 総合福祉センター前集合
17時00分 帰着予定
- ◆行き先 小樽市塩谷 塩谷丸山（629.2m）
- ◆持ち物 ザック、昼食、副食類、雨具及び防寒着、水筒、
軍手、ごみ袋、帽子、タオル、着替え、虫よけ等
- ◆服装等 登山に適した服装、靴は登山靴または運動靴で履きなれたもの。
- ◆定 員 30人（小学生は保護者同伴）
- ◆参加料 記念品及び保険料（当日の朝徴収）
大 人（中学生以上）1人1000円、子ども（小学生）1人500円
- ◆その他 雨天の場合は中止（当日の朝決定）
- ◆申込み 6月27日（火）までに電話等で申込み
スポーツセンター ☎27-3775



町内小中学校教科書及び昔の教科書等展示会の開催

教育委員会は、今年度、町内小中学校で使用している教科書展示会を下記のとおり開催します。

教科書展示会は、教科書の適正な採択に資することを目的に教科書発行法により設けられた制度で、例年6月に全国的に行われています。子どもたちが使用する教科書を教育関係者だけでなく、保護者や地域の方々にも閲覧していただくことで、学校教育への理解を深めてもらうことも目的としています。

また今回は、昭和初期の教科書や昔のランドセル、幌里小学校卒業制作の作品なども同時に展示します。展示品は、直接、手にとってご覧いただけます。懐かしい昭和時代の小学校の記憶がよみがえる展示となっていますので、多くの町民の皆様のご来場をお待ちしています。

◆展示期間 **6月9日【金】～6月22日【木】**

9時00分～17時00分

（火、木曜日は19時00分まで）

※土・日曜日開催

◆と ころ 厚真町青少年センター

★問 合 せ 学校教育グループ ☎27-2494



昭和の教科書やランドセル



幌里小学校卒業制作の作品

図書室だより

6月は環境月間です

今年の環境月間の展示テーマは、「イチから考える物ができるまで」です。

例えばプラスチックは日常生活になくてはならない存在ですが、同時に環境問題についての大きなテーマにもなっています。どのようにして作られて、回収されて再利用されているのかを理解できれば、今よりもっと使い方に工夫ができるようになるのではないのでしょうか。

図書室では、下記の期間で環境に関する本を集めた特別コーナーを設置しますので、ぜひご覧ください。

期間:6月1日~6月30日

場所:青少年センター図書室 展示書架

5月のおすすめ図書

《ベテラン菜園家たちに教わる
新発想の野菜づくり》

・支柱を立てるポイント、虫やカラスから野菜を守る方法など、カラー写真で紹介しています。まだ、夏野菜を植える時期に間に合います。

《アンビシャス

北海道にボールパークを創った男たち》

・札幌市、北広島市どちらに新球場が決まるのか。各市の担当者や日本ハムファイターズの担当者取材したノンフィクション。

《同人誌のデザイン》

・本の装丁デザインが詰まった本。フォントや色を変えてみるだけで、自分の作った本の魅力がアップします。

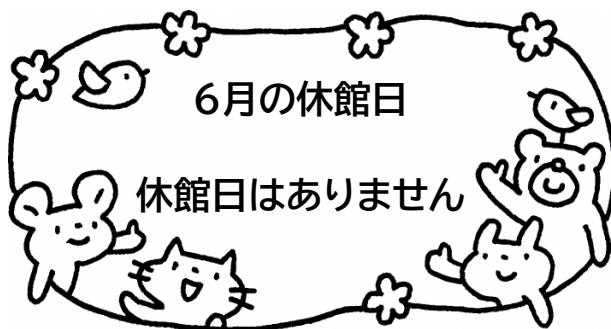


みんながいつも
食べている

厚真町の給食が紹介されています！

小峰書店「たのしい給食! 海の幸の給食」という本に、日本各地の海の幸を取り入れた給食メニューが取り上げられ、厚真町学校給食センターで作られた、ホッキガイを使ったホッキカレーの献立が紹介されました。

厚真町に住んでいると、ホッキガイは簡単に手に入っていていつでも食べられる食材のように思えますが、北海道以外の人から見るとカレーに入れるなんてうらやましい、と思えるみたいです。給食に出てきたらラッキーですね。



6月の休館日

休館日はありません

■青少年センター図書室開館時間

9時00分~17時00分(月・水・金・土・日)

9時00分~19時00分(火・木)

※祝日、年末年始は休館となります。

■厚南会館図書室

9時00分~17時00分(月~日)

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

6月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは、
22日(木) 10時00分から10時30分まで
場所:青少年センター図書室絵本コーナーです。

